# 事業評価シート (平成26年度分)

#### 1.事業の位置付け

「・学术の位置」					
事務事業名	囲碁文化振興事業				
事業担当	市民部文化·交流課				
事業種類	ハード ソフト				
総合計画の	'01 基本目標1 豊かな心をはぐ〈み、よろこびとふれあいにあふれたまち				
総合計画の   位置付け	'02 感性 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ				
は自じけ	'03 3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する				
根拠法令等	文化芸術振興基本法、平塚市文化振興指針				
対象·受益者	市民事業期間				
委託、協働	【委託: 3セク·財団 企業 NPO その他 】【協働: 平塚市まちづくり財団 】				
	目的・目標 事業の概要				
囲碁に関連した各種イベントを開催し、市民が囲碁に触れ合 囲碁文化の向上と振興のため、各種イベント等を実施しまう機会を設けることにより、囲碁文化の向上と振興が図られ す。 ています。					

# 2.事業の検証

活動指標	指標名	囲碁普及事業数			単位 事業
	説明·算定式				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	23	22	22	22
	実績	26	24	25	
ンエミャナビナ西	指標名				単位
	説明·算定式				
活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標				
	実績				
成果指標	指標名	囲碁普及事業参加者	数		単位 人
	説明·算定式				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	9000	10000	10100	10200
	実績	10119	10327	10055	
	指標名				単位
成果指標	説明·算定式				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標				
	実績				
進捗状況	: 予定どおり				
	遅れている	理由			
平成26年度の主な取組と成果					

平成26年度の主な取組と成果 ] 湘南ひらつか囲碁まつりを開催するとともに第7回囲碁サミット(大仙市)に参加し「囲碁のまちひらつか」を全国に発信しました。また、女流棋聖戦の誘致、各種囲碁大会、女性・子どもを対象とした囲碁教室等、親子囲碁教室、各種イベントの内容を充実することにより、囲碁文化の向上と振興を推進しました。

平成26年度	A :成果があがった
の検証結果	A . IX未がめかった

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	市民ニーズや「文化芸術振興基本法」による規定、文化振興の安定性、継続性の確保の観点から必要性は高い事業です。	高低
業		上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	事業展開の改善を図りながら、有効性を高めてい〈ことが必要です。	高低
分析	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	本市の貴重な文化資源である囲碁文化の普及、振興の観点から目的、対象、内容ともに妥当性は高い事業です。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	事業経費は、更なるコスト削減に取り組む必要があります。	高中低

# 今後に向けた課題の分析

囲碁人口の拡大を図るため、囲碁にふれる機会を増やす等の普及事業を推進するとともに、事業内容や経費の見直しを行い ながらコスト削減に取り組んでいく必要があります。

#### 3.年度別事業内容·決算額

(単位:千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		決算額	決算額	決算額	予算額
		各種イベント等の実施	各種イベント等の実施	各種イベント等の実施	各種イベント等の実施
事業内容					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	8,057	7,541	6,668	5,106
	一般財源	1,721	1,210	2,436	7,038
事業費 (A)		9,778	8,751	9,104	12,144
執行率 (%)		100.00	95.70	99.56	

# 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

# 平成28年度の取組方針

各種イベント等の開催状況を検証し、事業内容や事務経費の見直しを行い、事業効果を高めていきます。また、囲碁人口の裾 野を拡人するため、市の関係課の事業と連携を図り、積極的なPR活動を展開して普及を図ります。

#### 課長コメント

本市の貴重な文化資源である囲碁文化の普及、振興は妥当と考えます。今後も事業内容や経費を見直しながら普及に努めていきます。